



主任コラム11月号

主任 澤井 良子

10月の運動会にご参加頂きありがとうございました。終了時間が大幅に遅れてしまい、保護者の方にはお子さんが寝てしまったり、以上児の子も疲れてきてしまったりとご迷惑をおかけしてしまい申し訳ございませんでした。来年度は職員一同、今年度の反省を踏まえて改善していきたいと思います。

職員が休みの時に、私は色々なクラスへ入っているのですが、各年齢の子ども達の姿をみると、「人間関係」「言葉」の部分が大きくなるにつれて「子ども同士で解決する」という事や、友だちとの関わりの成長がみて感じられます。

0・1歳児は、相手に言葉で思いがうまく伝えられず「貸して」というより前に、お友達から玩具を取ってしまったり、場所の取り合いなどで喧嘩となり、噛みついたり引っ掻くなどの手が出てしまうトラブルが多く、保育士が両方の思いを受け止め仲立ちをする事で解決をしています。その中で1歳児のある日の出来事を0.1歳児の担任の日記より一部抜粋します。『西の広場で鉄棒や、太鼓橋などで身体を使って遊んでいた時の事。Hちゃん、Sちゃん、Sくんが3人で太鼓橋を登っている写真を保育士が撮り、撮った写真を保育士が見ていると、Hちゃんが「みせて」とやってきたので一緒に見ていたら、「これいいな。もっかいするわ」と言い「Sちゃん、Sくんもう一回しよう」とHちゃんが呼びに行く姿があった。だが、2人共別々の遊びをしていた為、集まることはなく「来てくれやんか〜」と残念そうにするHちゃんの姿があったが、“一緒にすると楽しい”とHちゃんを感じて、もう一度やってみようと思ったことが嬉しく、他者との関わりが濃くなってきたことを感じた瞬間であった』1歳児は、個々だけでなく友達と遊ぶ楽しさもだんだん感じていくようになります。こういう子ども達の姿や成長を見守り、関わっていききたいと思います。



2歳児では、ある日のコーナー遊びの中で、Mちゃんが赤ちゃんのお人形を取られたと泣いていました。取ってしまったと思われるSちゃんはなんともいえない表情でMちゃんをみていました。すると、Kちゃんがやってきて「どうしたん？Mちゃん。赤ちゃん欲しいの？あかな」と言い、KちゃんはMちゃんとSちゃんのやり取りは見ていなかったのですが、Sちゃんに怒ります。子ども同士の空気や雰囲気察したのかKちゃんはMちゃんの頭を撫でてから、しばらくしても泣き止まないMちゃんからスッとSちゃんと一緒に離れ2人でおままごとコーナーへ行っていました。それからどうなるのかな？と思っていると2人はおままごとをしてから、赤ちゃんのお人形をそれぞれが持ちMちゃんのところへ「どうぞ」と渡しに行きました。するとMちゃんの気持ちも落ち着き3人で遊び始めました。2歳児でも大人の介入が必要な場面もありますが、みていると少しずつ自分達で相手の思いに気づき、言葉を通して解決する姿が見られます。



幼児クラスでは、積み木コーナーで、年中さんの男の子が、積み木を「取った」「取られた」で喧嘩をしていました。その様子を私は聞きながら片付けをしていると、同じくそのやり取りを聞いていた年少児のAちゃんが「あのさ、小さいテーブルあるところあるやん。そこで話してきたら？」とピーステーブルがある事を伝えていました。幼児クラスには、自分達で落ち着いて話し合い、お互いの気持ちが伝え合い納得できるようにピーステーブルがあります。そこには、子ども達で決めたルールもあります。年少さんだけで解決できない時には、年長さんが入って仲立ちをしてくれます。先日はピーステーブルに子ども達が集まっていたので「何かあったのかな？」と見に行こうとしたら、年長さんが入ってくれて「お茶飲みな」と既に解決してくれていました。各年齢によって喧嘩の内容も変わってきますが、自分の思いを受け入れてもらえる！聞いてもらえる！ということ子ども達が集団の中で感じていけたらと思います。



**避難訓練
鈴峰分団の方がきてくれたよ**



先日火事を想定した避難訓練を行った際に、鈴峰分団の方が4名来て下さいました。今まで地震や火事で園庭に避難をしていましたが、避難した後どのように消火するのか、消火器はどのように使うのかなどを実際に体験しながら教えてもらいました。ポンプから水を園舎に向かって放水したり、子ども達も普段は持つことの出来ないホースを持たせて頂きました。鈴峰分団の中には園児のお父さんも入っておられます。お仕事の忙しい中子ども達に教えて下さったこと、とてもいい体験となりました。ありがとうございました。

